中国運輸局公示第 ３３号

公　　示

準特定地域における一般乗用旅客自動車運送事業の需給状況の判断結果について

平成２６年１月２４日付け中国運輸局公示第７８号「準特定地域における一般乗用旅客自動車運送事業の適正化の推進のために監督上必要となる措置等の実施について」に基づき、一般乗用旅客自動車運送事業の需給状況の判断結果を下記のとおり公示する。

なお、需給状況の判断結果の算定基礎数値は、別紙のとおりである。

平成３０年８月２４日

中国運輸局長　土　肥　　豊

記

平成３０年度における需給状況の判断結果

県	営業区域（交通圏）	必要車両数（両）	平成29年度末車両数（両）	増加可能車両数（両）
広島	呉市Ａ	255	418	▲ 163
	東広島市	183	265	▲ 82
	福山交通圏	601	860	▲ 259
鳥取	鳥取交通圏	180	298	▲ 118
	米子交通圏	156	220	▲ 64
	倉吉交通圏	73	110	▲ 37
島根	松江市	278	472	▲ 194
	出雲市	189	276	▲ 87
岡山	岡山市	1,039	1,650	▲ 611
	倉敷交通圏	440	683	▲ 243
	津山市	105	151	▲ 46
山口	下関市	358	528	▲ 170
	宇部市	221	311	▲ 90
	山口市	181	264	▲ 83
	周南市	216	288	▲ 72
	防府市	120	158	▲ 38

※　上記「平成２９年度末車両数」は、特定地域及び準特定地域における一般乗用旅客自動車運送事業の適正化及び活性化に関する特別措置法（以下「タクシー特措法」という。）第２条第９項に定める事業用自動車（一般乗用旅客自動車運送事業（１人１車制個人タクシーに限る。以下「個人タクシー」という。）を除く。）の数である。

※　その他ハイヤー（道路運送法施行規則第四条第八項第三号の規定に基づき国土交通大臣が定める区分を定める告示（平成２６年国土交通省告示第５９号）第２号に規定するハイヤーをいう。以下同じ。）がある営業区域にあっては、算定した一般タクシー（タクシー特措法第２条第９項に定める事業用自動車からその他ハイヤー及び個人タクシーを除いたもの。以下同じ。）の必要車両数と平成２６年１月２７日現在の一般タクシーの車両数の乖離率を用いてその他ハイヤーの必要車両数を算定し、これを一般タクシーの必要車両数に加えて算定したものである。

附　則

１．この公示は、平成３０年８月２４日から適用する。

２．この公示は、平成２９年度の準特定地域における法人タクシー（一般乗用旅客自動車運送事業（１人１車制個人タクシーを除く。））の新規許可申請、条件解除の承認申請、営業区域の設定に係る事業計画変更認可申請、増車に係る事業計画変更認可申請、休車の解除に係る事業計画変更認可申請及び個人タクシーの新規許可申請について適用する。

３．平成２９年８月２１日付け中国運輸局公示第２６号「準特定地域における一般乗用旅客自動車運送事業の需給状況の判断結果について」は、平成３０年８月２３日限りで廃止する。

（別紙）

１．広島県

（１）呉市Ａ

輸送需要量 Ａ＝Ｂ×Ｃ	平成29年度の 総実車キロ　Ｂ	直近5年間分の 対前年度比率の平均値　Ｃ
4,840,708	5,113,255	0.95

必要車両数 Ａ÷(Ｄ×Ｅ÷Ｆ) ÷365÷Ｇ	輸送需要量 Ａ	総走行キロ Ｄ	実車率 Ｅ	延べ実働車両数 Ｆ	実働率 Ｇ
255	4,840,708	14,046,265	0.40	97,272	0.90

（２）東広島市

輸送需要量 Ａ＝Ｂ×Ｃ	平成29年度の 総実車キロ　Ｂ	直近5年間分の 対前年度比率の平均値　Ｃ
4,659,903	4,574,621	1.02

必要車両数 Ａ÷(Ｄ×Ｅ÷Ｆ) ÷365÷Ｇ	輸送需要量 Ａ	総走行キロ Ｄ	実車率 Ｅ	延べ実働車両数 Ｆ	実働率 Ｇ
183	4,659,903	10,284,785	0.49	65,129	0.90

（３）福山交通圏

①一般タクシー

輸送需要量 Ａ＝Ｂ×Ｃ	平成29年度の 総実車キロ　Ｂ	直近5年間分の 対前年度比率の平均値　Ｃ
11,279,849	11,636,568	0.97

必要車両数 Ａ÷(Ｄ×Ｅ÷Ｆ) ÷365÷Ｇ	輸送需要量 Ａ	総走行キロ Ｄ	実車率 Ｅ	延べ実働車両数 Ｆ	実働率 Ｇ
600	11,279,849	28,791,633	0.45	224,408	0.90

②その他ハイヤー

乖離率 a = (b － c) ÷ b	平成26年1月27日現在の 一般タクシー車両数 b	一般タクシーの 必要車両数　c
0.35	922	600

必要車両数 d－(ｄ × ａ)	平成26年1月27日現在の その他ハイヤー車両数　d
1	3

２．鳥取県

（１）鳥取交通圏

輸送需要量 A＝B×C	平成29年度の 総実車キロ　B	直近5年間分の 対前年度比率の平均値　C
3,850,331	3,952,673	0.97

必要車両数 A÷(D×E÷F) ÷365÷G	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
180	3,850,331	10,444,312	0.46	74,190	0.90

（２）米子交通圏

輸送需要量 A＝B×C	平成29年度の 総実車キロ　B	直近5年間分の 対前年度比率の平均値　C
3,997,693	4,096,168	0.98

必要車両数 A÷(D×E÷F) ÷365÷G	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
156	3,997,693	10,173,893	0.48	62,477	0.90

（３）倉吉交通圏

輸送需要量 A＝B×C	平成29年度の 総実車キロ　B	直近5年間分の 対前年度比率の平均値　C
1,376,798	1,420,796	0.97

必要車両数 A÷(D×E÷F) ÷365÷G	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
73	1,376,798	3,617,435	0.45	28,486	0.90

３．島根県

（１）松江市

輸送需要量 A＝B×C	平成29年度の 総実車キロ　B	直近5年間分の 対前年度比率の平均値　C
4,983,190	5,225,683	0.95

必要車両数 A÷(D×E÷F) ÷365÷G	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
278	4,983,190	13,725,342	0.44	112,148	0.90

（２）出雲市

輸送需要量 A＝B×C	平成29年度の 総実車キロ　B	直近5年間分の 対前年度比率の平均値　C
3,422,222	3,598,296	0.95

必要車両数 A÷(D×E÷F) ÷365÷G	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
189	3,422,222	9,024,742	0.46	75,558	0.90

４．岡山県

（１）岡山市

輸送需要量 A＝B×C	平成29年度の 総実車キロ　B	直近5年間分の 対前年度比率の平均値　C
19,818,917	20,318,412	0.98

必要車両数 A÷(D×E÷F) ÷365÷G	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
1,039	19,818,917	51,009,055	0.42	368,087	0.90

（２）倉敷交通圏

輸送需要量 A＝B×C	平成29年度の 総実車キロ　B	直近5年間分の 対前年度比率の平均値　C
8,889,062	9,018,645	0.99

必要車両数 A÷(D×E÷F) ÷365÷G	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
440	8,889,062	21,523,843	0.47	164,612	0.90

（３）津山市

輸送需要量 A＝B×C	平成29年度の 総実車キロ　B	直近5年間分の 対前年度比率の平均値　C
2,205,267	2,212,021	1.00

必要車両数 A÷(D×E÷F) ÷365÷G	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
105	2,205,267	4,701,660	0.51	37,858	0.90

５．山口県

（１）下関市

輸送需要量 A＝B×C	平成29年度の 総実車キロ　B	直近5年間分の 対前年度比率の平均値　C
6,728,481	6,924,134	0.97

必要車両数 A÷(D×E÷F) ÷365÷G	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
358	6,728,481	18,805,818	0.44	143,503	0.90

（２）宇部市

輸送需要量 A＝B×C	平成29年度の 総実車キロ　B	直近5年間分の 対前年度比率の平均値　C
4,294,881	4,432,255	0.97

必要車両数 A÷(D×E÷F) ÷365÷G	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
221	4,294,881	11,283,201	0.45	85,244	0.90

（３）山口市

輸送需要量 A＝B×C	平成29年度の 総実車キロ　B	直近5年間分の 対前年度比率の平均値　C
3,846,845	3,924,332	0.98

必要車両数 A÷(D×E÷F) ÷365÷G	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
181	3,846,845	9,784,110	0.46	69,117	0.90

（４）周南市

輸送需要量 A＝B×C	平成29年度の 総実車キロ　B	直近5年間分の 対前年度比率の平均値　C
3,707,920	3,837,057	0.97

必要車両数 A÷(D×E÷F) ÷365÷G	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
216	3,707,920	10,061,255	0.44	84,847	0.90

（５）防府市

輸送需要量 A＝B×C	平成29年度の 総実車キロ　B	直近5年間分の 対前年度比率の平均値　C
2,264,428	2,293,259	0.99

必要車両数 A÷(D×E÷F) ÷365÷G	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
120	2,264,428	5,414,723	0.45	42,693	0.90

※「直近5年間分の対前年度比率の平均値」、「実車率」、「実働率」及び「乖離率」の数値は、小数第3位で四捨五入して記載しているため、必ずしも計算結果は一致しないことがある。